

題 熱投 C 題 1 冊 氏名
 中学校生活の3年間、よくもわるくも僕は野球
 からたくさんのおもしろいことを学ばせてくれた。
 野球があって、様々な人と会うことができた。
 指導してもらったことがあった。野球をやっていた
 僕は、附属中の野球に入部していきなりは
 いなかにもたさんの励まし、サポートを受けては
 いなかにもたさんのおかげで、今の僕がある。
 といふ。でも思えば、いなかにもたさんに助けをもらっ
 たから、15歳の今描くのは、この投球中か、思い、た
 臨場感を表現するために、輪郭を強調して、ボールも細かく、
 このボールからいかにボールを吸収し、投球したことを表した。

私と美術 C 題 1 冊 氏名
 辻先生、そして藤原先生からは、先生の技法、コリ、
 テクニックなどを細かく教えてくれた。
 先生達がいなかったら、一生美術のおもしろさなどに
 気付いていなかったと思う。
 この3年間の美術に対する意識は明らかに変わった。
 絵画をやる時、中学入学前はただ絵の具とペ
 ンを塗りつぶすだけだったが、入学後はいろいろなデザイン、テクニ
 ムなどを教えてもらった。絵画に幅がでて、より深い
 作品を作ることができるようになった。
 そして、絵画だけでなく、コントラストやテクニク、色合いも
 見かた、いろいろおもしろく、色んな角度から物事を
 見ることで、できるようになった。
 この3年間の学習は、おもしろい授業や内容で、多くの
 ことを吸収することができた。
 この学びをも、高校でも利用して、さらに発展
 させていきたいと思う。



モデラーの手

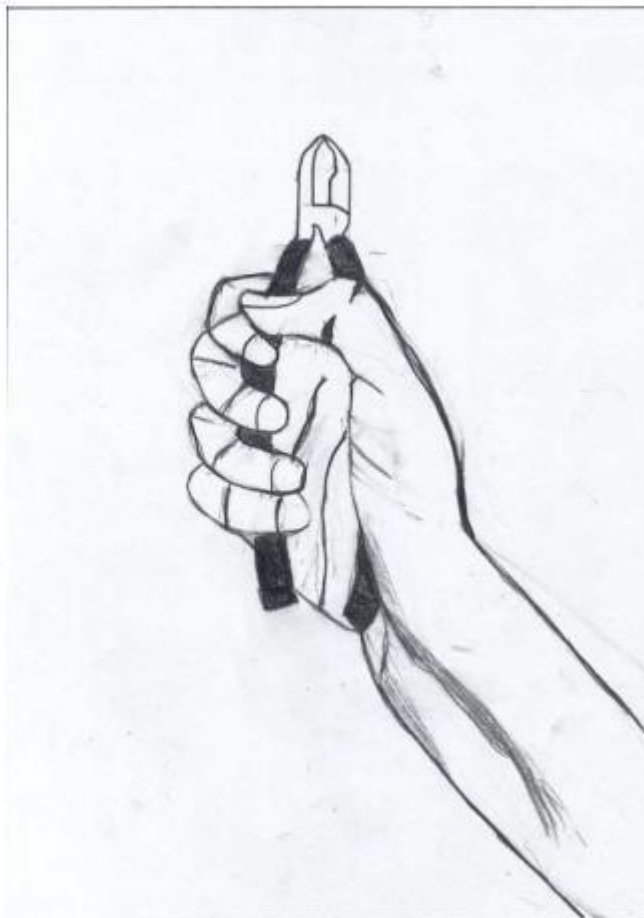
C 冊 2 冊 氏名

アモデルを作ることが趣味で金庫が空になった。
長年存分に作っていき工夫して自分のスタイルを
たいて思ハローを押しつけている。その
全体がワス、もつたしてカズ、士を表現した。

私と美術

C 冊 2 冊 氏名

一年生の時に作った組み木の机立てを僕は今迄
机の上にかかっている。ムリゴウからデザインを
考へておもしろい味のある作品ができた。
機軸系1ゴでセアリ出し、時間をかけてカズリ
かけたので与でも経路がある。木のぬくもり
と人の手仕事ぬくもりが感じられる。人の手仕事
において、時間をかけてイメージが実際のものに
なっている。そのやりがいは作った人の真中あたりに
伝えているものか僕にとっては良い作品だと感じ
られる。



題 勉強
 自分が勉強している時の左手
 人差し指と親指で消しゴムを持つ。常に消しゴムを使う体制を養っている。
 この姿勢として何スムーズに学習を進めることができる。
 影をつけたうなだか分かりづらくなつた。
 しかし陰り方はなかなか上手くてきたと思う。

私と美術
 大げな手をして真似ておれり。線の厚を使った
 自分を表現すること。美術の中で多様な分野がある。
 中でも自分が好きなのは自分を表現することだ。
 うちお製作が専攻だ。などの、自分が今感じていることを表現するのは難しく、思い通りにいかないことある。けれど、アインシュタインをくり返すこと、自分の思ったことができた時はとても気持ち良かった。自分を表現するには、粘り強く取り組むことが大切だし、それの大変さも分かった。
 何ということがある。たまたまも充実していた。



期 1 条件 解体

＜期5 冊 氏名＞

・この期は、自由に自分の未来を自分の手で守ることを思っていた。

・手の間にある具体的な形を、注の円として自分の未来を表現して、この期は円を描いてきた。その円の中に、この期は円を描いてきた。その円の中に、この期は円を描いてきた。

・言葉の前後は新しい表現だ。

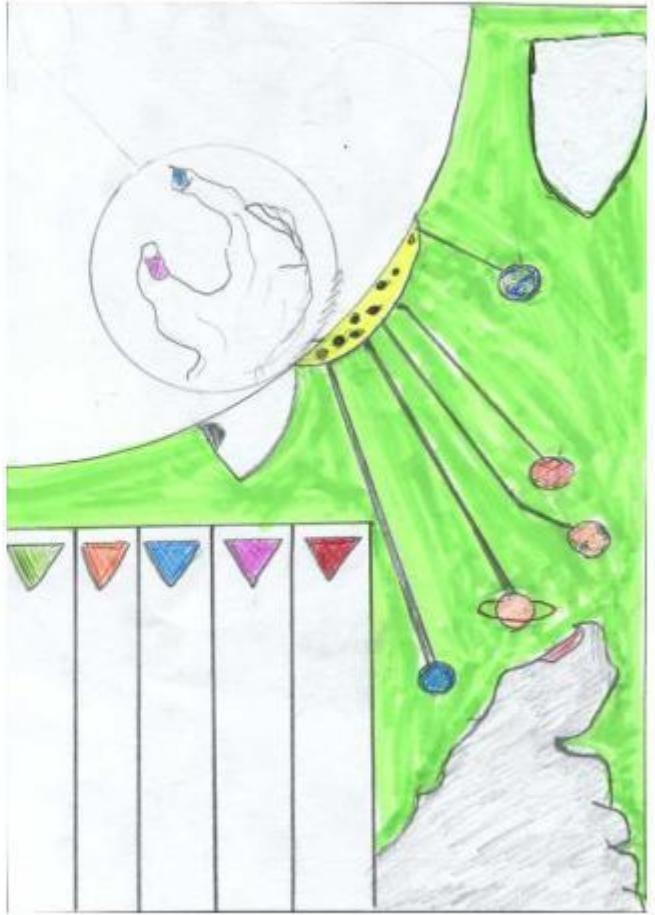
私と美術

＜期5 冊 氏名＞

私の言葉は、最初は自分のことを表現するために使っていた。その言葉は、自分が言葉として表現してきた。この言葉は、自分の言葉として表現してきた。

この言葉は、最初は自分のことを表現するために使っていた。その言葉は、自分が言葉として表現してきた。この言葉は、自分の言葉として表現してきた。そして、美術という言葉は、自分の言葉を表現するために使ってきた。そして、美術という言葉は、自分の言葉を表現するために使ってきた。そして、美術という言葉は、自分の言葉を表現するために使ってきた。





⑤ 次のステップ C組7番 氏名

自分にとって木とは、階段をかけたまま、いくことと似ている。
つら、途中で座れてしまったり、あるいは先の見通いの
ない道のように感じられるということだ。そして、階段は階段
でも先の見えない階段で、いっかかれてしまっかたから、
そんな人、階段だ。それ故に何かにかかりつくとする、
そんな人の気持ちを、朱の糸を書き表した。
全体として無彩色を基調とすること、先の見通いが
たよみ、間や霧の中の階段を上っているように見せた。
階段は、屋影を休るとして長いように見せている。

私と美術 C組7番 氏名

美術は、多くのことから、教科とつながっている
と思ふ。つまり、数学で言えば、図形の読み取り
方や図形の立体認識が関係あるし、音楽で言えば、
自分の見たもの、感じたものをどう視覚で表すか
ということだ。つまり、美術に志す人は、それだけ
自分の伝えたいことを正確に伝えられる人だから、
いろいろ得ることがあると思ふ。だから、これから先、
美術力を向上させて、自分の伝えたいことを正確に
伝えられるように努力していきたいと思ふ。



題名 じょうほう。 1 C組 8番 氏名

これは、数学のテストで、いかに数字が、このテストのトランプを握るための、具体的な点数は、このテストが、ある程度、この感じでした。

私と美術

C組 6番 氏名

私にとって美術とは、



題「手〜ツルハカ〜ツルハカ」 C組9番 氏名

空気の黒と紙の白だけを使った。紙の厚さや水の量で色を調整するように考えた。茶の部分は金箔の膜で塗った。紙の厚さや水の量で色を調整するように考えた。茶の部分は金箔の膜で塗った。紙の厚さや水の量で色を調整するように考えた。茶の部分は金箔の膜で塗った。

私と美術

C組9番 氏名

私は、絵画に興味を持って、いろいろな技法を学んで、表現の幅を広げたいと思います。絵画は、自分の感情や考えを表現する手段として、とても大切な役割を果たしていると思います。これからも、絵画を通じて、自分と向き合い、世界と向き合いたいと思います。

そして、美術は、自分の個性を表現する手段として、とても大切な役割を果たしていると思います。これからも、美術を通じて、自分と向き合い、世界と向き合いたいと思います。





手 C 第12冊 第1巻

附属中学校では、いろいろな体験をさせてもらいました。初めてのことも多かったと思います。そのような活動の中で使われる手を使い、たくさん汚してしまいました。この手は立体的に描くために指を二つ、右上の方向へかけとつくり、いろいろな体験を表現するためにシワや折れ、こすりを、こすりを、その汚れをつけました。特によく使ったと思われる指先などを濃くしました。

私と美術 C 第12冊 第1巻

僕は絵を描くことは好きでした。小学校としていた。頭に浮かんだものを何の工夫もなく異常なスピードで描くようなこんな授業が大好きなと思っていました。しかし中学に入ると、了行する分には何時間でもかかれば、技師に学ぶ、それを使って何時間でもかかれば、技師に出会いました。今までの美術には違っていました。いろいろな表現技法を学ぶ、それを使って絵を描くことが好きになりました。特に光と影を鉛筆で表現する授業がとても好きでした。完成した作品がそのおかげで立体的になっているのを見た瞬間に達成感がわいてきました。美術に一生好きでいたいと強く思いました。



右手

C 13 日 氏名

この右手の15年間、いざやいざと使われてきた。
 木が物と揺る、木が揺る、木が揺る、木が揺る、木が揺る
 木の揺る、木の揺る、木の揺る、木の揺る、木の揺る、木の揺る
 木の揺る、木の揺る、木の揺る、木の揺る、木の揺る、木の揺る
 木の揺る、木の揺る、木の揺る、木の揺る、木の揺る、木の揺る

私と美術

C 14 日 氏名

美術が私に何をもたらしたか、それは、私の心を
 美術の世界へと広げた。美術は、私の心を、私の心を、私の心を
 美術の世界へと広げた。美術は、私の心を、私の心を、私の心を
 美術の世界へと広げた。美術は、私の心を、私の心を、私の心を
 美術の世界へと広げた。美術は、私の心を、私の心を、私の心を
 美術の世界へと広げた。美術は、私の心を、私の心を、私の心を
 美術の世界へと広げた。美術は、私の心を、私の心を、私の心を



題名 1 私の手 C 創作画 58

この作品は私が生まれてから今までに
いたるまでこの手を使い生きてきた証と
いえる手です。
またその中には苦勞がたくさんありました
それを乗り越えてきたものでもあります。
それに今、こうして又筆を執っているのも
手です。未だに生きています。一握のもの
ながら大切にしたいです。あつかり。

私と美術 C 創作画 58

私は昔「美術はかアソー」とか「生きていく
中で必要な」と思っていました。
しかし実際はそうではありません。
先生の授業を受けていたか美術に感心と
もつことができたのしくなりました。
絵をかくのは好きですがとても下手な。たか
少しコツをつかむとスグマシになつました。
また「生きていく中で必要な」というのも
変わりました。美術と関係あつたことによつ
て生かすより楽しむことになりたつた。それ以来
今現在までの物に対し美術の目線で見
て人生をより豊かにしたいと。ていこと



名 末

C 組 氏名

人に教えるのが好き(していい)、教える(思っている)、
本物の才能を無限に伸ばした向いて、これだけ
いつか世界を救う、海軍のたのしみがあるから、これだけ
たかたか、目標を定めて生きていこう、
この西を愛すは。

私と美術

C 組 氏名

二年間美術科を学んで、いろいろなものを描く毎日から人々の
心に伝わる、一つの機会として、この機会から
作者の心を伝えるための、独自の表現技法を
使っているのだから、少しづつ進んでいこう。
今までは機会を見てきたが、最近にこれだけ、
面白い、少しづつ進んでいこう。
考えて、いつか、これだけ、
それだけ、美術科の授業が、これだけ、
大いに心を動かした。
世の中には、たくさん人の作品がある、それだけ、
ストーリーがある、それだけ、
おもしろい、これだけ、
人生とつながり、これだけ、
深く、美術科とつながり、
これだけ、



題名 派生

C組 16番 氏名

僕はこの作品に「将来の可能性を込めたい」という気持ちを含めて作りました。
製作より工夫は陰と影を使ったことと、派生を表す線に気を取り入れることと「安定していない」つまり簡単な道のりではないということと表しています。「光」を当てることと「将来への希望」を表しました。

私と美術

C組 16番 氏名

僕は授業を通して美術に対する意識が変わりました。美術は人の思いを変えられる程の力を持っていることか、分かったからです。同じような絵でもわりと全く印象が違ふということも学びました。色だったり、他人に大きな影響を与えます。僕は今まで以上に日常の中にある「色」をよく見るようになったし、自分でも気にかけるようになった。例えば店の内装で「青がなくていやされるような雰囲気がある」とか「赤が多くて少し暖かいなあ」と思ったり、自分の服装で「秋だから茶色を入れよう」とか「お風呂が楽しみたいから明るい色を入れておこう」と思ったりするようになった。

僕は美術科の学びと日常でたくさん使えたら、皆が皆好むような幸せな気持ちに成り得ると思います。



題「受験」 (組員氏名)

よく15才で一番思いつくことは受験です、合格という系をつかめるかどうかは受験です。その中で系(合格)をつかんでいる手ばかりでした。まわりの手は受験にはおちる人がいるので勝者の手に似ていて、つかまりました。

私と美術 (組員氏名)

この3年間の美術で学んだのは、作品は見た目でいいかというところ、作品は何かを表現しているか、それを読みとることが美術士の役割だと思います。また、自分で作るのとは違って、何かの裏面を覗いて作る作品は非常に少ないです。同じ風景を見ても、人それぞれ感じ方が違います。そこには何の裏面があるのかを考えてみるか、あるいは何が裏面を覗いて理解した時か、それはいいです。



題「あたり前に持った宝物」

C18 氏名

僕は左利きなので自分の左手を極めた。この手は母からの命を受け文字を書いたり、消したり、何かを拾ったりかいたりと、今までの生活のほとんどの行為に関わってきた。ふと振り返ってみればこの左手がどれほど大切のであつたか気付いた。生誕大時から持っていておそろく死ぬまでと持ち続けているところからこの手は何よりも大切な宝物ともいえるのではなかと思う。もしこの左手がなければ自分の意思で動かすことが出来れば僕はこの作業をまくことができない。あたり前の動作が邪魔であるならばこの左手をおからこそこの僕はこの左手を持ち、動かすことが出来るから生活できることを感謝し、大切に生きていきたい。

私と美術

C18 氏名

中学校に入り「国工」から「美術」と名前が変わり、たまたま「アクリル」塗り始めたのが、好きになつて来た。生地の制作にあまり難しく感じない。もともと器用な僕は、色々なアイデアが浮かぶので、自分でも思いつくアイデアを参考に決めて得意な材料は使った。けれど、毎回家で描いて送付の準備ができておき、アクリルを塗るときは、アクリルなどの作業も以前同様難しくやることで、おもしろいと思う。



題「自分の手」

（前）19歳 北名

75年間一人な立派になら前まで生きてくれた親への感謝を込めて描いた。

指の長さの微妙な違いを頑張ってみた。手の線などの形も頑張った。手首については一応時計のベルトのフエリを立体的に描けよう頑張ってみた。

私と美術

（前）17歳 北名

色の使い分けだけで絵の印象が違ってくるのが一番印象的だった。色からイメージするもの、温度、重さなど小学校では習わなかったことをやった。又、絵を描くだけでなく「ブラッシング」や「マーブリング」など、自分のと人な感じに仕上げることができるようになり楽しみの増えた。この話聞て「美術」



題「つながり」を求めて、 (第20回 共名)

ままいく中で必要なとは、やはり人とのつながりだと思いつ、
 学校という守られた空間ではあまり目立たないがもしも
 せんが、僕たちは義務教育を終え、社会という大海
 へ旅立ちます。はじめに高校という島に着いて、大学や職場
 という島に行きます。そこで多くの人たちと出逢い、義務教育
 の島では起こりえないような複雑な関係を築きます。その
 関係の中で、今や社会問題にもなっているいじめ、などのおな関係
 もいくつかあるがもしもせん、私が時、優しくしりやられ研があったら、
 んん人に、助の手をしりやられたらと思つます。この手のモデルは僕の手で
 秘、本当は優しい手を求めているのは、僕自身なのがかしれま
 せん。

私と美術

(第20回 共名)

美術とは、絵画や彫刻などを作りあげることだ。そ
 こに美しさを感づくとは、誰にでもできるが、美しさを生み
 出すことは優れた知識と感覚をもち、熟練された人々に
 ないといけない。もう、3年前の僕は見つけていました。今は
 美術は、言葉でも作れ、音でも作れ、のるものだと思つて
 います。



題名 明日に向かって
C組2期 美術

未来に向かってがんばってという思いを込めて
描きました。

青色は空をイメージして、上の部分を白にした理由は、
まだ知らない未知の世界ということが、白にしました。
手を伸ばした理由は、自分自身にかけ声をかける
つもりで、ということ。毎日、前進して、向上しよう
という意味を込めて、描きました。

私と美術

C組2期 美術

元々、私は美術が好きです。

絵などどう描くかはわからない。アイデアはなくて
描くはない。そして作品を作るためにもののほか、
美術に対する意味がわからない。そう思っていました。

しかし、だんだんと授業を重ねていくうちに、少しずつ興味が
わき授業が増えました。人の手で作られた作品のイメージ
が伝わることに気づき、表現技法もものごとが
そう思うことができました。

相変わらず作る時も、描く時も好きです。

その中でも自分の興味がわくものにこのお花も
私は美術の授業で覚えたものだと、さと言えど、はた
お花と美術とは授業のほかにありません。高級な花、そ
うはいないと思います。

しかし、大人になっても人の作品を見たいと思っているのが
美術の好き意識になつてきました。

これから自分の好きな美術をやっていきたいと思います。



題「 LOVE & PEACE 」 C 組 22 番 氏名

私が「LOVE & PEACE」という題名にした理由は、
今を生きていくには 愛と平和を大事に 苦しみに 過ぐすことが
できるから「LOVE & PEACE」にした。

制作上の工夫としては、ピンスケルをしながらハートを描くところを
書込みが意外と大変で、手のしわや指の位置、大さなにも大変で
自分の手を見ながら書いたので苦労しました。

私と美術

C 組 22 番 氏名

3年間 美術という教科を学んで、最初は美術というは
絵を書いたり物をつくらする教科だと思っていました。
しかし、3年間美術という教科を学んで、わかったことは、
美術という教科は 絵を書いたり、物をつくらするだけじゃなく
アイデアを練り、色を組み立てるしたり、美術の技法を使って
作品をつくらする教科だとなりました。



題「目指すものは...」 C 23巻 148

私が描いた15才の手は、何かを指差しているという手の形です。

しかし、指を差しているものはまだ、ぼんやりしていて(夢か)指の形もゆるい感じで描きました。

工夫した所は、全体的にはぼんやりとした感じを出したかったので、あまりはみつきとらんかくや影をかかずに、指ごこつとほかした所です。

また指の形も、これからの自分と重ねて、夢に向かって進んでいく様子を表はした。

私と美術 C 23巻 149

美術の学が通して、物事をいろいろな角度から見ることができるようになったと思います。作品を鑑賞する時に、この色がこの場所にぬられていることでこのような効果があるなど外側の表現の技術や、この絵を描いた人がこんな思いでこの風景を描いたんだという内側にはこめられている気持ちもじっくり深く考えることができるようになりました。

また、実際に自分がデッサンをする時も、描こうとしている物にどのような角度でどのくらい量のどんな光が当たっているかという様な角度から物を観察するようになったので、以前よりもリアルな未来を描くことができるようになりました。

美術の授業は、自分の頭でイメージしていたことを、実際に色や線に表すことができたのでとても楽しかったです。美術の授業には間違いがないので自分の個性をいかり発揮でき、伸ぶことができました。



題名 3年間ありがとう C組24番 氏名

今まで附属に来て1年、1日1日が大切な思い出で
 中でも、やはり中学3年間は本当にかけがえのない物で
 した。友達と一緒に笑って遊んだ日は一生忘れることは
 ないと思います。これから別の道へ歩き、色々な人
 会うことはできなくなることはとても寂しいです。
 なので大切な友達に「ありがとう」と言っ
 てお手紙したいと思いました。なのでこの絵はその時の
 木々を想い、笑顔でお別れしようと思います!

私と美術

C組27番 氏名

私にとって美術は とても身近なものだと思います。
 昔から絵を描き、絵をみてきたので
 とても美術が好きです。
 自分を色んな表現方法で 表現することができると
 それは、素晴らしいことだと思います。
 なので、これから がんばって 自分を表現してい
 たいと思います!!





題「 私	進行方向 C組26番 氏名
---------	------------------

15年間つぎつぎな経験、嬉しか、たこと楽しか、たこと
悩んだこと 悲しか、たこと... すべて経験したおとしの
手にどれだけのものが詰まっているのか。その中身を外に表して
きた。うすくは気持ちの中には 冷たいものから暖かいものまで
ある。その冷たいものは下の方に、奥の方に置いていき、それを
土台にして暖かなものがあり、指先に希望の光がたぎ
ている。それが、未来を明るく照らしている。という構成に
した。私の15年間は詰まっているので、白い部分がある。
ように、何か色がついているようでした。

私と美術	C組26番 氏名
------	----------

私にとって美術とは、その時の思いが表れるものである。
作品を見れば、その時の自分は何か考え、何か好きで何を
意識していたのかが分かる。1年生の最初に描いた「夢」も、
どんな風に描いたかすっかり忘れていたが、3年ぶりに見てみる
と1年生の頃の思いが、と伝わってきた。なので今回は
あえて同じ構図にしてどう変わるか比べてみた。
自分の過去と比べるのもそうだが、友と比べるのもおもしろ
かった。五感と表す單元ではさきさまを表現した価値
とさ。テーマが分かるのもあはれし、自分とは全く別の表し
方をしているのもあった。
素直に表現できる美術とこれからはもうまっすぐあ
いきたいと思います。



文字を書き終えた、0.17. 五五
 私はこの作品にこれからの将来の希望
 や夢がうまくいけたと思いを込めて
 描きました。この作品が夫した点は、
 光のあたり具合を認識して描き、
 希望という言葉を書き終えたことにより、
 絵に躍動感を与えました。おまけ
 として今文字を書き終えた時に、
 になりました。あの文字は、
 になった書体を使用しました。それが、
 調で書いていいかなあと思ったからで。

私と美術 0.17. 五五
 私が三年間美術を学んで見たこと
 は、美術は週一回しかないけれ
 ど、とても印象深い教科だとおも
 うばらしい教科だと思いました。
 私は美術はどの教科ともつな
 がっていると思います。なぜならどの
 教科にも感性を生かすという感覚
 がなくないからです。なので美術
 はとても役立つ。そして私は
 美術科を学んで自分の考えや、
 教科に対する考え方が変わった感
 じました。美術の授業は、
 学校にいても美術を楽しく
 いたしたいと思います。

希望

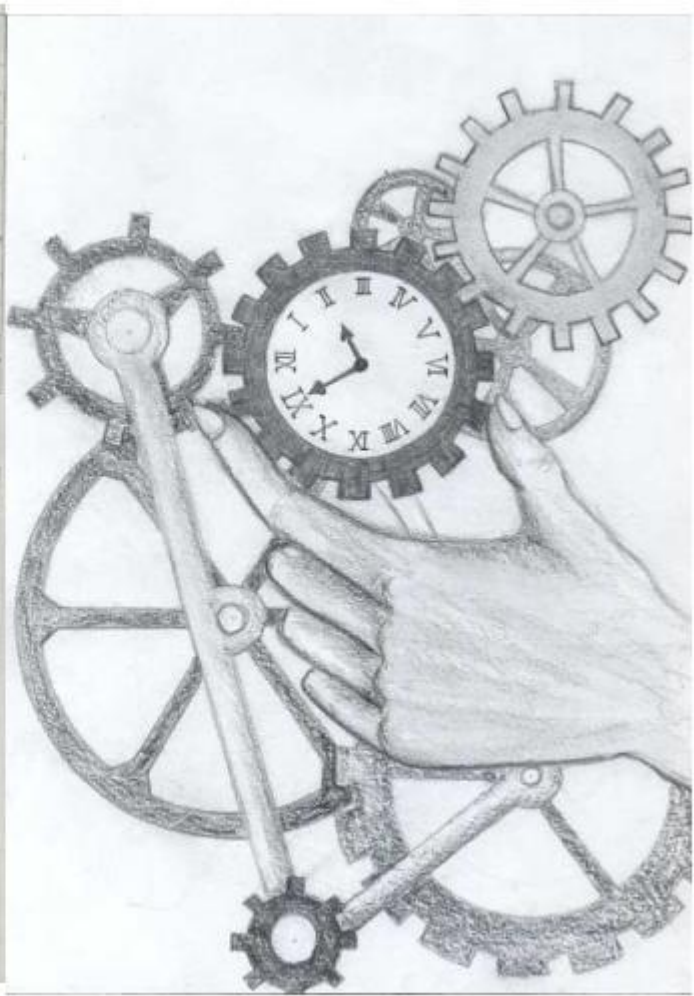


題名 時の歯車 C.H. 280 頁

私がこの作品に込めた思いは2つあります。
1つ目は、今の自分は、人では何もできないということ。
ただ、ただでは動くことのできない歯車と同様に、私自身、
家族や友だちなど、たくさんの支えがないと生きてゆけません。それと
同時に、支えてもらいながらもこれからは自分から何事も切り開い
ていこうという意味を、自分の手を歯車にそえることで表現してい
ました。
2つ目は、「15歳という今、この瞬間を大切にしよう」ということ
です。この期間中での生活は残りわずかなほほほ、卒業式までの残
りの日々を、一日一日大切に過ごさうという意味をこめて、歯車の中
にある時計を15歳の私の手とつなぐ様子を描きました。
手に陰影をつけるのがとても難しくなっています。

私と美術 C.H. 280 頁

美術は、平面や立体で自分を表現できる教科だと思
います。3年間、自分を表現する上で必要な知識や技法を
たくさん学んできました。このようなことを学ぶ前までは、絵画
や彫刻などの芸術作品を見て、「へーすごいな」と思うに
けてました。しかし、色の分解や、ブランチンや遠近法などの技法
を学んだ今となっては、「これは、○○を使えば○○な風に見えるから
こう見えるんだ」というように、芸術作品を法則や理論を用いて
鑑賞できるようになった気がします。相手にどのように発信し
たら、自分を理解してもらえるかをよく考え、言葉以外の方法で
表現することは、とても難しく、またとてもおもしろいものでもあり
ました。特に心に残っている作品は、中2の時に作ったネーム
プレートです。自分の名前と自分の個性とを融合させてどう表す
か、とても苦戦したのを覚えています。
これから将来、美術で学んだことをいろんな方面で生か
していきたいと思います。



題 1
名 二から三 この方手は 1 C 展 29番 氏名

二から三も絵をかいてはいたけれど、どう思っていたのか、指すとした。

「未来への希望」なので、絵の中の手が描いて、手全体は明るい色使いのカラーゾーンにしました。リアリティを出したかったので、手にかけを入れました。筆の先の全体部分のかけに特に力を入れました。

肌の色よりはうすい色を全体におくことで、濃い色をかけの位置を考えた方がよかった。

私と美術

C 展 29番 氏名

私は色彩や色使いについて、今まで感覚的に認識していただけでした。絵を描いて色をおく時も「何となくこの色にはう」と思っていただけでした。しかし、中学校で色について学ぶ、明度や彩度について知ったからは、色をおく時に色々と考えるようになりました。明度や彩度はもちろん、筆に塗、下色との影響を考えて次に塗る色を決めることができるようになりました。

私は中学校で身につけた二からの力を借りて、二から三も学習を深めたいです。将来美術関係の職業に就きたいと思っているので、高校生になったら、更に本格的に絵の学習をしていきたいと思います。



題「つかれたもの」 C組30番 美術

私が今まで15年間過ごしてきた、手に入れたものは自分の手にはあきまりきらないほどたくさんあります。そのことを、色を使ってあかしたことを表現しました。失敗したからこそ手に入れたものもありました。でも、今考えればその失敗さえも、自分にと、価値があるものだったと思います。だから、明るい色ばかりを使いました。そして、その手に入れたものを手放すことなく、自分を成長させていく材料にできるようにしたい"と思います。その意味や意味もこめて、自分の手は力強く、着く、かきました。

私と美術

C組30番 美術

私は小学校の時の「図画工作」の時間が好きなくとも嫌いな時もありました。というのも、工作などは好きだったのに、絵はあまり好きじゃなかったからです。なので中学校に入って「美術」にかわって、絵ばかり書くのかと思うと不安でした。でも、実際は絵ばかりではなくて、この3年間いろんなものをつく、できました。自分が伝えたい思いはたくさんの方で表現できるということを知り、自分の世界が広がった感じがしました。1年生の時に先生が教えてくれた、たとえに書いてみたら自分なりになかなか上手く書けてすごい感じが、たのびを覚えています。それから、絵がかけりが楽しかったです。やっぱり自分のいやなことからにげればかりじゃいけないんだな"と思いました。美術は私にそんなことを教えてくれた貴重な時間でした。



題名 外柔内剛 C組引書 氏名

野球ホームグラウンドのそのを握ろうとしている手を描いた。
固めの印象を与えるために濃くは、きりと直線中心で描いて、その上をやや薄めの曲線でなぞた。

私と美術 C組引書 氏名

小学生の時の美術との関わりといえば、図工の授業で先生に指示された通りに作品をつくることだけでした。それはそれで楽しかったんですが、中学生になってからの美術行はもど難しくてもど面白いものになりました。同じ線の具でも水の割合によって全然違ったり、立体をかくとき見る角度によって陰影が変わったり、小学生のときは気にしていなかったことに気がついて美術の繊細さを知りました。

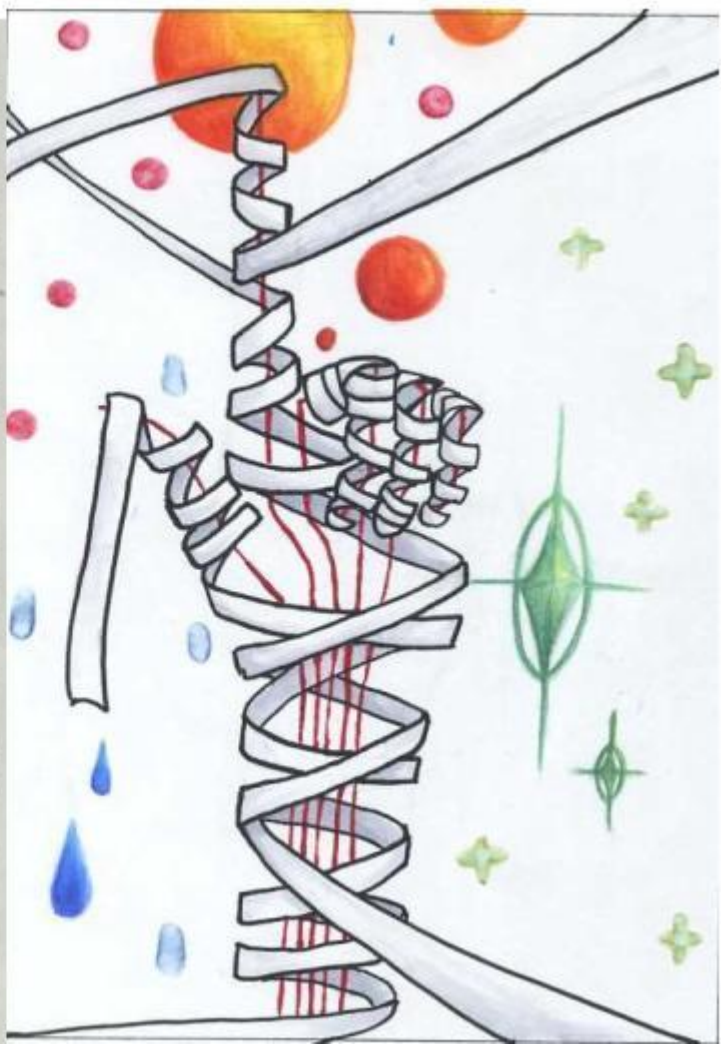
美術は国語や数学と違って自由ですがだからこそ難しいんかと思いました。私に美術は難しく過ぎて、美術行は自分には関係のないものだと考えるようになってきました。

それでも、文字をマークにする授業や単色や複色などの色の使いの授業を通して、身近な所に美術は利用されていることと気がきました。それから、たまたま美術自体を身近に感じるようになって、難しいよりも面白いと思うようになってきました。



題「本当の手」 (冊 32冊 氏名)
 手を握り止して考えました。気持ちには目に見えません。目に見えるために言葉の「色帯」を思い描きました。気持ちには「心」があります。「心」を「血」として考え、伸びの長さで「心」はあることを考えたのです。「心」は「熱い」、「赤い」は「よ3=び」、「702」は「心」をモチーフとして考えました。「よ3=び」は「い、い、い」といふと思、とて大きく多く描きました。「熱い」は赤い色をつけ、「熱い」があれば「気持ち」が成長する。と描き「安心」は「気持ち」を安定させるために必要なのではないかと言葉にはほほえみとほほえみと描き、ほほえみと描き、感情はあつちやで、ほほえみと描き、ほほえみと描き、ほほえみと描きました。
 私がよましている理由は、「気持ち」と大きくほほえみと大きく成長していきたいという気持ちをこめました。

私と美術 (冊 32冊 氏名)
 美術は私達の近くにあります。あたりまえにあるものだと思います。私、そのあたりまえの中で「美しい」と思う所やものに美術があるのだと私は思っています。美しい絵・美しい彫刻はもちろん、美しい景色、美しい料理...。美しいものはすべて美術。人の心を動かすことのできるものは美術であり、誰かがつくることができるのだと私は思っています。また、美しいものを見ることにより、感性を身につけていくことができます。目もくぼり、美術をさがしていくことで、より身につけることができる。感性を身につけていくと思います。感性を身につけることで、人間性が豊かになります。人として成長はしていくことのできる1つの手段に美術があるのだと思います。生活している中で、より美術に目をあけることがないので、人間性を豊かにするため、また、美しいものに会った時のよ3=びのために、美術をもさがし、意識しようと思います。



題「光にむかえてどこまでも」 C用33冊 氏名
 人へのものは努力するし、上でもなく大きな力を
 作り出せると私は思います。自分で定めた目標が
 ほんの小さなもので、それでも大きく乗り出す
 ことのできるようなもので、日々コツコツと努力し
 教えるための失敗の経験も必要として、目標はいつ
 いたもの、それができる人でありたいと私は思います。
 一つの目標が 越えられたら、おれら再チャレンジしリベ
 ンジし達成し、また目標を定めて、そこに向かって努力
 していくことが必要だと思えます。自分にとっての目標が
 他人にはなかなか見えないこと、光輝いて見えてはいないが、何れに
 しても最後には自分の作った目標を達成することが一番大切だと思えます。

私と美術 C用33冊 氏名
 美術は、見の前にある物を正確に描き作り出すこと
 ができるが、私は自分の気持ちや他人に伝えたいもの
 一種のコミュニケーションだと思ふ。ただ、言葉では達し
 難いところまで達しなくてはならない。自分が伝えたい
 こと、達しなくては他人は受けとれずかまわない。
 具体的な表現する場合もあるが、大抵は抽象的に
 表現した作品には、特に思ふと思ふ。しかし、今の
 作品を見て、いろいろを感ずるが、あることを和らげ
 美術の業としての気持と思ふ。自分で見えない角度から
 見るのができるかもしれないという。製作においては
 練習においてこそ思ふと思ふ。そして、自分の表現の
 幅がどんどん広がっていく。微妙な気持ちや表現
 できるものになってきたらと思ふ。そのために、いろいろ
 なる作品を果して、そこから思ふことが、伝わり、くちか
 ること、私達として思ふ。



未熟なミ

C 34 頁 116

また、触しきれない子供の「実」を手をついて交える手。自分の体を守るといふ、さきにあるのは手であるところから、理想していた。「ミ」は「実」であり「実」でもある。主役の手と交えておきにおいて、より交えるイメージに近づけた。
枝や木のこぶは、サカと流れて書いたが、手もテアロメしききると、逆に目立たなくなる。サカとサカと本物に近づけて、一回回との差を消した。初中でも違和感にだけは気づかないように気をつけた。
また、手の形を右でかき、対称のかた、いかによりみ、さる、てい、ない、やわらかい感じを入らした。

私と美術

C 34 頁 117

中学に入り、色彩学がとーろから知りました。
色の感覚は、あの時その時に入り、入ってきて、美術という世界を応えて、その時に気づいた。
特に、黒川ワカが印象的。の、ている、ふか、つ、れ、と、って、ま、え、な、ま、で、た、け、ど、お、り、品、と、つ、く、ら、木、も、の、は、さ、か、い、な、る、と、思、う、私、ら、が、つ、く、の、は、長、面、の、新、り、と、さ、つ、け、た、た、け、ど、私、に、お、り、の、ま、い、の、全、部、を、か、り、き、な、い、と、思、い、な、し、奥、の、色、が、お、り、た、と、き、思、え、た、と、思、う、か、と、か、一、向、の、け、た、と、思、い、な、し、い、に、色、を、お、り、た、と、思、う、と、か、
色、と、い、は、と、ん、な、も、の、で、お、り、た、と、の、調、和、も、大、切、。
色、を、学、ん、だ、こ、は、あ、つ、た、と、思、い、私、ら、の、美、術、の、活、動、の、根、底、に、お、り、て、あ、ら、び、の、と、間、違、い、を、さ、た、ん、た、と、思、う、
お、て、きた、こ、は、い、ろ、い、ろ、あ、る、け、ど、私、に、お、り、て、の、美、術、は、色、だ、と、思、う、



<p>題名 6 ネイルと爪</p> <p>将来の自分を考えるのが好きなのは、ネイルアーティストになった ための、爪ばかり見てしまいます。 爪の手入れは自分自身をリフレッシュさせるための えているので、この絵を書きました。 構造的には、爪の形をどのように描くか、です。</p>	<p>C 2020年 11月</p>
<p>私と美術</p> <p>ネイル好きの自分には、美術は好きで、色鉛筆や マーカーを使い、色づかいを考えたリ、自分の 好きな色、色づかいから、 それだけでなく、その絵を置くのが好きで、 白い紙には、基本を学ぶことしづかき ます。 絵を書くことが好きで、方法を身につければ 自分の思い通りの作品が、つくれど、教えてくれたのは 附属中学校での美術の時間です。 先生や、1人1人、生徒全員を見とく、 アドバイスをしてくれ、それとて作品に反映しました。</p> <p>私にとって美術とは、苦手をモノ、好きなモノ、 ともに、大切なものです。</p>	<p>C 2020年 11月</p>



題「かたつむり」 (組 37番 美術)

小エビ君 右手と離れている
"かたつむり" や "ハリコブ" 等と
似ている、少し似てくれている。
また "かたつむり" は "かたつむり" だ。

私と美術

(組 37番 美術)

三年向美術を学んで
日常の生活に役立っていると思う。
特に三年生の時にやった
白紙からの絵を描くというコンセプトで
書いていくのが楽しかった。
三年向で学んだことが全て
役に立っていると思う。



題 'Be the BEST' (第38回 記事)
 中学校3年は1つのステップにすぎないから、これから、とモチベーションはもうという思いでこめました。まずゴールの象徴であるチェッカーカーから手をに揃いと、自分なりに財源を定めの一つ、達成しようとする熱意と必死の闘いを、そして瓜の色で、苦勞の中にあつて自分の個性をわすれずつぎ進め、という気持ちを表しました。また時計で、12時を少しすぎているのは、中学という日があつた、次の高校というステップに入ろうとしている所をあらわしています。つまり、ゴールとスタートはひとつとなりあわせです。手のまわりには、つらさなど負の感情がこぼれまわっていますが、上にはくっついて、奮力してつめざつたらさがるほどの希望があふれています。

私と美術 (第38回 記事)

私にとって美術とは、個性を十分に発揮できる唯一の環境でした。ふつうの生活ではあまり自分の思うままにならず、個性を押しさなければいけません。美術などの表現を通して、私は完成体というものです。どんな表現と人々とらえ方も、すべて自身に任せていて、作るのも指のこともすべて自分のままだと。とて心地よく、なぐてはならない存在です。私は小さい頃から、あれこれと意見が違ふとか、「こを私ならこうしたい」と不満を感じることが多かったのですが、それで充分に表現力が備つていませんでした。しかし、中学校の美術の授業で、自分で表現することの大切さ、表現の方法を知ることができ、人に自分の意見を伝えることができるようになりました。また、他の人の意見も聞いて、すこしいやうに感じとれるようになり、それを自分の力にできる能力も外にまわりました。美術は私に大きな成長をたらしてくれたと思います。先生の自分自身で、自由表現などを尊重する雰囲気にとび驚きましたが、とても心はほっとした表現の喜びを知れたことがとてもよかったです。



題名 ハート C 39 頁 56

私が附中で暮らしたものにハートです。
 友達を思いあってのアサチームががんばったことです。
 ハートはそんな気持ちをあらわしている気がします。
 手ごねハートもつくってみたいには思います。でも、その
 作り方を教えてくれた人が、下りいます。しかしそれが前
 1人1人の個性となり、附中に良い味をだしているの
 ではないでしょうか。1人1人に大きいハートがある
 からみんなの個性がたぎるのだからと思います。もう
 卒業してしまえばと、みんなのハート思いは、いつか
 附中の最後と下の思い出だと思います。

私と美術 C 39 頁 56

美術では単なる思いのつみや素行にとられる。
 自分の考えが作品にだて表すののどきる教科
 でした。とこそ新鮮が楽しかったです。
 一つ一つの作品に自分の考えや思いをこぼすのは
 難しかったです。しかし、1年生の時にやった「色」や
 2年生の時にやった「陰影」、絵の具の使い方がい
 ろいろな表現技法をうまく事にふり達成できた
 と思います。
 3年間、美術という教科をやり、昔々にのこる
 のは、バーバードゥア制作です。今まで、つから
 ことのないうつら、鉛筆、えんぴつ、で私がのこした
 「かたさ」をつくらした。金属でつくる夢をみるの
 もかもしろいですが、私の成長した形ができた
 ので今もついています。
 私は美術から、自分ではなにがだ、つくる
 機会をもらいました。自分は、まだ何事もから
 けれど作品を通して、1歩1歩近づきたいです。



題名 手の成長
C 用紙 40 頁 氏名

生まれた時からいろいろな手で15年ほど大人のことをしてきたのが自分の成長の手を写した。
真ん中の星は、グールです。
私は星が好きなだけ描いた。

私と美術

C 用紙 40 頁 氏名

美術は以外と身近なものだと思う。
昔の私は美術にはあまり関心がなく、何も気にしていません。
しかし、今自分は美術が好きだと絵を描くのが好きです。
特に変な絵を描くのが好きです。

